

事 務 連 絡  
平成23年12月12日

(社)岡山県医師会 御中  
(社)岡山県病院協会 御中

岡山県保健福祉部健康推進課

マイコプラズマ肺炎に関する一般の方々への情報提供について

このことについて、厚生労働省健康局結核感染症課から別添のとおり事務連絡がありましたのでご了解願います。

岡山県内のマイコプラズマ肺炎の発生状況については、10月以降の増加傾向は顕著であり、48週（11月28日から12月4日）の1週間あたりの患者数は3,20人と、過去10年間で最も多い報告がありました。

については、今後の発生動向について留意いただくとともに、関係機関への周知についてご配慮願います。

なお、本連絡は、次のホームページに掲載しておりますので、念のため申し添えます。

記

岡山県保健福祉部からの医療安全情報等のお知らせ

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

**【参考ホームページ】**

岡山県感染症情報センター（毎週金曜日に週報を掲載しています。）

[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=309](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=309)

岡山県感染症情報メールマガジン（毎週金曜日に感染症情報を配信します。）

[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif\\_id=97672](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=97672)



事務連絡  
平成23年12月9日

各 { 都道府県  
保健所設置市  
特別区 } 衛生主管部 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

マイコプラズマ肺炎に関する一般の方々への情報提供について

日頃より感染症対策へのご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

マイコプラズマ肺炎については、基幹定点からの患者数の報告をいただいておりますが、本年の報告数は、第25週以降増加しており、過去10年間で最も高い報告数で推移しています。

つきましては、一般の方々への情報提供に資するよう、今般、「マイコプラズマ肺炎に関するQ&A」を作成し、厚生労働省のホームページにも掲載いたしますので、お知らせいたします。

マイコプラズマ肺炎に関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou30/index.html>

## マイコプラズマ肺炎に関するQ & A 平成 23 年 12 月

マイコプラズマ肺炎について一般の方々に理解を深めていただけるよう、Q & A を作成しました。なお、今後の知見の進展等に対応して、逐次、このQ & A を更新していくこととしています。

---

Q 1 マイコプラズマ肺炎とはどのような病気ですか？今年増えていると聞きましたが、どうして増えているのですか。

A 1 マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因としては、比較的多いものの1つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。

例年は、マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、冬にやや増加する傾向があります。過去には、昭和59(1984)、昭和63(1988)年に比較的大きな流行があったほか、平成12(2000)年以降は徐々に患者数が増加傾向にあります。平成23(2011)年は夏頃から患者数の増加が報告されていますが、増加した理由はよくわかっていません。

Q 2 どのようにして感染するのですか？

A 2 患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間くらいとされています。

Q 3 どのような症状が出ますか？

A 3 発熱や全身倦怠感(だるさ)、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあります。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。多くの方はマイコプラズマに感染しても気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の方は肺炎となり、重症化することもあります。一般に、小児の方が軽くすむと言われています。

Q 4 感染しないようにするために、どのようなことに注意すればよいですか？

A 4 感染経路はかぜやインフルエンザと同じですので、普段から、手洗いをすることが大切です。また、患者の咳から感染しますので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守ってください。

Q 5 治療方法はありますか？

A 5 抗菌薬（抗生物質）によって治療します。抗菌薬のうちでも、マイコプラズマ肺炎に効果のあるものは、一部に限られています。近年、マイコプラズマ感染症に通常使用される抗菌薬の効かない「耐性菌」が増えてきているとされていますが、耐性菌に感染した場合は他の抗菌薬で治療するなどします。軽症ですむ人が多いですが、重症化した場合には、入院して専門的な治療が行われます。長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

（注）マイコプラズマ肺炎は、マクロライド系などの抗菌薬で治療されます。